

努力事項 その6 (小学校)

「学校教育指導の重点」の図画工作の努力事項をひとつずつ考えていきます。今回は、学習指導要領の内容に照らして、以下について考えてみます。

授業の各段階において、活動を振り返ったり、自分や友達のよさを認め合ったりできるような自己評価や相互評価を行いましょう。

1 これは、どういうことなのでしょう？

児童が表したいと思ったことを意図どおり表現できているのか、製作のそれぞれの段階で、ワークシート等を使って自分自身で振り返る活動を取り入れましょう。発想や構想の段階、製作の初期、中期、末期のそれぞれの段階で、児童が自分の活動を振り返り、満足感を味わったり、思い通りにいかないところについては、振り返りを生かして先生のアドバイス等を得てあきらめずに取り組み、意図どおりの表現ができるようにしていきましょう。

また、「私は、もやもやしている心の中を、形と奥行きで表現してみたいと思いました。」とか、「僕は、湖に月の光が映り込み、さざ波でそれが揺れている場面をこんな色遣いで表したいと思いました。」など、それぞれの作品の意図を説明し合ったり、「A君の作品は、力強い線が印象的です。」とか「Bさんの説明を聞いて、Bさんの作品の色の使い方の意味がとてもよくわかりました。」など、互いの作品のよい点を指摘し合う活動を取り入れることで、自分の表現のよさを実感するとともに、友だちの発想・構想や表現のよさに気付くなどして、製作のそれぞれの段階で自己評価や相互評価を積極的に取り入れていきましょう。

こうすることで、自分が発想・構想したことを意図どおり表現できているか、友だちや自分自身の評価を通して意識するとともに、友だちの表現のよさを認めながら、自分の表現に自信を持ち、自分なりの表現を深めていくことができるようにしていきましょう。



今回は、中学校の努力事項「道具や薬品の誤用等で事故が起きないように、適切な学習環境のもとで授業を展開するとともに、道具や薬品等の安全指導と保管に十分留意する。」について考えてみます。

8月16日（金）頃アップの予定です。